

第6回設計方法シンポジウム

コラボレーティブ・デザイン

情報の共有と創発的デザイン

主催：日本建築学会 建築計画本委員会 設計方法小委員会

開催日：2003年1月20日（月）13:30～17:00

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

今日、デザイン問題はますます多角的で複雑・不安定な様相をみせはじめている。自然環境、人工物環境、社会・文化環境、情報環境などの多層からなる複雑な人間・環境系の問題を解決するためには、個別のディシプリンに基づくアプローチの寄せ集めではなく、諸領域を横断する「トランスディシプリナリ」なアプローチが不可欠であり、デザインプロセスは本質的に多くの異質な主体の「コラボレーション」によって展開されることになるであろう。そこでは、個々の要素にとどまらず、要素間の関係をデザインし、さらに様々な主体相互の対話を促進することにより、諸要素の集合が創発的な特性を生成する魅力的な環境を形成することが課題となる。

設計方法小委員会では、こうした問題意識に基づく近年の研究成果をまとめた単行本『コラボレーションによるデザイン』を彰国社から刊行する運びとなっている。そこで、建築/都市/ランドスケープ/プロダクト、実践/研究を横断する幅広い視点から、コラボレーティブ・デザインの本質を問うシンポジウムを開催し、21世紀のデザインビジョンを拓く新しい設計方法のあり方について議論を深めてみたい。

内容

1. 主旨説明

コラボレーティブ・デザインの展望

門内輝行（早稲田大学）

2. パネルディスカッション

コーディネータ：日色真帆（愛知淑徳大学）

1) イーブンパートナーによるコラボレーション

竹内昌義（東北芸術工科大学・みかんぐみ）

2) ランドスケープと建築のコラボレーション

宮城俊作（奈良女子大学・プレイスメディア）

3) 3DCAD/CAE を活用したコラボレーションとナレッジマネジメント

中條義雄（富士ゼロックス）

4) ネットワークコラボレーションの可能性

両角光男（熊本大学）

情報の共有と創造をめぐる

3. まとめ

山田哲弥（清水建設）

定員：150名（申込み先着順）

参加費：会員1,000円、会員外1,500円、学生500円（資料代を含む。）

申込方法：FAXまたはE-mailにて「催し物名称、氏名、勤務先、所属、電話番号」を明記してお申し込み下さい。

なお、定員に達した場合のみお断りの方にご連絡申し上げます。

申込み・問合せ：日本建築学会事務局研究事業課 榎本和正

E-mail：enomoto@aij.or.jp FAX：03-3456-2058